

第4章 キャリアコンサルティングの実態①－相談内容

1. 全般的な傾向

本章では、キャリアコンサルティング経験がある者を対象として、その相談内容について検討を行う。過去に相談を経験した回答者がどのような内容の相談を行ったのかを整理し、現在、行われている職業やキャリアに関する相談の実態を明らかにすることは、今後のキャリアコンサルティングを考える上でも最も基本的な情報となる。

また、調査回答者の属性との関連を検討することで、どのような人がどのような相談をしたのかを明らかにすることができる。このことによって、キャリアコンサルティングが留意すべき対象層別の特徴についても何らかの示唆を与えうるものと考えられる。

図表4-1にキャリアコンサルティングの相談内容を示した。最も多い相談内容は「転職」(53.8%)であった。次いで「仕事内容」(35.3%)、「自分の職業の向き不向き」(24.8%)、「賃金や処遇」(22.0%)、「モチベーション・アップ」(18.3%)と続いていた。

図表4-1 キャリアコンサルティングの相談内容

転職	53.8%
仕事内容	35.3%
自分の職業の向き不向き	24.8%
賃金や処遇	22.0%
モチベーション・アップ	18.3%
職業能力の開発・能力アップ	16.5%
学生時代の就職活動	14.9%
将来のキャリア計画	14.8%
職場の上司との人間関係	13.5%
残業や労働負荷	11.2%
(学生時代以外の)就職活動、求職活動	10.8%
精神面の病気・不調	10.7%
資格取得	10.0%
職場の同僚との人間関係	8.8%
配置転換・出向・転籍	6.0%
昇進・昇格	4.5%
職場の部下との人間関係	4.2%
結婚・出産・育児	3.9%
会社の倒産・リストラ	3.8%
その他の病気・入院	3.4%
その他の個人的な深刻な悩み	3.3%
職場外の人との人間関係	3.0%
定年後の就職、仕事	2.8%
人間関係以外の仕事上のトラブル	2.6%
進学・留学など	2.5%
家族の介護	2.5%
その他(職業選択)	1.3%
その他(労働条件)	0.4%
その他(個人的なこと)	0.4%
その他(能力開発)	0.2%
その他(人間関係のトラブル)	0.2%

2. 性別・年齢別・配偶者の有無別の相談内容の特徴

図表4-2は、キャリアコンサルティングの相談内容を性別に集計したものである。男性で多かった相談内容の上位3つは「転職」(54.2%)、「仕事内容」(29.4%)、「自分の職業の向き不向き」(21.6%)であった。女性も同様に相談内容の多い順から「転職」(53.0%)、「仕事内容」(47.0%)、「自分の職業の向き不向き」(31.2%)であった。この点、男女で相談内容を多い順に並べて比較検討した場合には大きな違いは見られなかった。

図表4-2 性別のキャリアコンサルティングの相談内容(複数回答)¹

	男性	女性
学生時代の就職活動	14.1%	16.4%
(学生時代以外)の就職活動、求職活動	9.8%	12.9%
転職	54.2%	53.0%
会社の倒産・リストラ	3.5%	4.3%
定年後の就職、仕事	3.8%	0.8%
その他(職業選択)	0.9%	1.9%
自分の職業の向き不向き	21.6%	31.2%
モチベーション・アップ	18.8%	17.2%
職業能力の開発・能力アップ	15.8%	17.7%
資格取得	9.0%	12.1%
進学・留学など	2.3%	3.0%
将来のキャリア計画	14.0%	16.4%
その他(能力開発)	0.1%	0.3%
仕事内容	29.4%	47.0%
賃金や処遇	19.9%	26.3%
残業や労働負荷	9.1%	15.3%
配置転換・出向・転籍	5.0%	8.1%
昇進・昇格	4.4%	4.6%
その他(労働条件)	0.3%	0.8%
職場の同僚との人間関係	7.2%	11.8%
職場の上司との人間関係	12.3%	15.9%
職場の部下との人間関係	4.3%	4.0%
職場外の人との人間関係	2.8%	3.2%
人間関係以外の仕事上のトラブル	2.1%	3.5%
その他(人間関係のトラブル)	0.1%	0.3%
精神面の病気・不調	10.5%	11.0%
その他の病気・入院	3.8%	2.7%
家族の介護	2.4%	2.7%
結婚・出産・育児	2.8%	6.2%
その他の個人的な深刻な悩み	2.6%	4.8%
その他(個人的なこと)	0.5%	0.0%

※1%水準で統計的に有意に値が大きい箇所に網掛けを付した。

¹ 本報告書では、クロス表の分析にあたって、 χ^2 検定を行って1%水準で統計的に有意か否かの確認を行った後、1%水準で有意となった表について残差分析を行い、1%水準で統計的に有意に値が大きいセルまたは有意に値が小さいセルについて解釈を行う手法を用いた。クロス表の分析の後、残差分析を行って、クロス表のどこに特徴があるのかを確認する手法は、統計手法としては一般的であるが、表頭および表側のNの数と照らして期待される数値(期待値)からどの程度大きいか(あるいは小さいか)という言わば「歪み」を検討する統計手法であるため、表の見目の%の大小関係と直感的にずれる場合がある。そこで、本報告書では便宜上、「相対的に」「他と比較して」のように表記をして、可能な限り表の見目と齟齬のないように記述することを試みた。ただし、本来、当該クロス表が統計的に有意である(=表頭と表側に関連がみられている)のは、表中の網掛けまたは下線部分に統計的に有意な対応関係があるからであり、そこにこそ特徴的な結果が示されると解釈の方が正確である。本報告書ではクロス表を解釈するにあたって、表面上の大小関係ではなく、むしろ統計的に有意な結果である網掛けまたは下線部分に着目するよう留意されたい。

ただし、同じ相談内容について男女でどちらが多いかを検討した場合、統計的に有意に異なる結果が見られる箇所がみられた。まず「自分の職業の向き不向き」は男性 21.6%、女性 31.2%で女性の方が多かった。同様に「仕事内容」は男性 29.4%、女性 47.0%、「残業や労働負荷」は男性 9.1%、女性 15.3%、「結婚・出産・育児」は男性 2.8%、女性 6.2%といずれも女性の方が多かった。男性の方が多かった相談内容は「定年後の就職、仕事」であり、男性 3.8%、女性 0.8%だった。

女性の方がどの相談内容でもおおむね男性より高い割合を示す理由として、本質問項目が複数回答であるために、女性の方が男性よりも複数の項目について相談したと回答した割合が高いことが考えられた。このことを検討するために、男女別に、本質問項目に○を何個つけたかを数え上げた結果、女性では平均 3.6 個 (SD=2.7)、男性平均 2.9 個 (SD=2.5) であり、統計的に有意に女性の方が多かった。すなわち、女性の方がキャリアコンサルタントに相談に訪れた時に、いくつかの複合的な相談事が重複した形の相談内容を持ち込むことが多く、男性では相対的に持ち込む相談内容の個数が少ないものと考えられる。

図表 4-3 には、年齢別のキャリアコンサルティングの相談内容を示した。表から、20 代後半から 40 代までは、上位 3 位は「転職」「仕事内容」「自分の職業の向き不向き」あることが分かる。加えて、各年代に特徴的な相談内容が散見される。例えば「20 代前半」では「学生時代の就職活動」、40 代後半および 50 代後半では「賃金や処遇」、50 代前半では「モチベーション・アップ」である。

また、図表 4-4 には、年齢別のキャリアコンサルティングの相談内容を、図表 4-3 とは異なる形で示した。1%水準で統計的に有意な箇所に着目して、主だった結果を解釈すると次の 3 点を指摘できる。

第一に、20 代では他の年代に比べて高い割合を示す相談内容が多く、就職活動、職場の上司の人間関係、精神面の不調が高い割合を示していた。就職および職場への適応をめぐる相談内容が中心であったと言える。また、20 代後半では結婚・出産・育児なども他の年代と比べて多い相談内容であった。

第二に、30 代は転職の相談が他の年代に比べて多かった。

第三に、40 代では特に特徴的な項目はみられず、50 代に至って、定年後の就職・仕事の相談内容が相対的に多かった。

なお、図表 4-5 には、年代別のキャリアコンサルティングの相談内容のうち、上述した統計的に有意な結果の示された項目のみを図示した。基本的に相談内容は「転職」が多いが、20 代前半は「学校時代の就職活動」「(学生時代以外の) 就職活動、求職活動」を挙げた回答者が多かった。また、「精神面の病気・不調」「職場の上司との人間関係」も多かった。20 代後半には「結婚・出産・育児」も僅かに多かった。これらは年代が高くなるにつれて、漸減する傾向があるところに共通点がみられる。結局、20 代は就職や職場への適応、私生活面での大きな変化が重なるために、相対的に相談ニーズが多岐にわたり、それ故、量的にも多く

なることがうかがえる。ただし、年代が高くなるにつれて増える相談内容もあり、例えば「定年後の就職、仕事」はその典型的なものであったと言える。

図表4-3 年齢別のキャリアコンサルティングの相談内容①(複数回答)

	20代 前半		20代 後半
学生時代の就職活動	47.1%	転職	49.7%
仕事内容	39.1%	仕事内容	39.8%
自分の職業の向き不向き	29.7%	自分の職業の向き不向き	32.3%
転職	23.9%	学生時代の就職活動	25.5%
(学生時代以外の)就職活動、求職活動	23.2%	モチベーション・アップ	24.8%
モチベーション・アップ	23.2%	賃金や処遇	24.2%
職場の上司との人間関係	22.5%	職場の上司との人間関係	21.1%
精神面の病気・不調	20.3%	職業能力の開発・能力アップ	18.0%
賃金や処遇	19.6%	(学生時代以外の)就職活動、求職活動	17.4%
職業能力の開発・能力アップ	18.1%	将来のキャリア計画	16.8%

	30代 前半		30代 後半
転職	62.8%	転職	65.9%
仕事内容	34.6%	仕事内容	37.6%
自分の職業の向き不向き	27.1%	自分の職業の向き不向き	28.8%
モチベーション・アップ	23.9%	賃金や処遇	28.2%
賃金や処遇	23.9%	職業能力の開発・能力アップ	18.8%
将来のキャリア計画	19.1%	モチベーション・アップ	13.5%
職業能力の開発・能力アップ	16.0%	将来のキャリア計画	13.5%
職場の上司との人間関係	14.4%	残業や労働負荷	12.9%
精神面の病気・不調	13.3%	資格取得	10.6%
学生時代の就職活動	12.2%	職場の上司との人間関係	10.6%

	40代 前半		40代 後半
転職	59.7%	転職	60.0%
仕事内容	41.0%	仕事内容	28.6%
自分の職業の向き不向き	28.5%	賃金や処遇	21.9%
賃金や処遇	22.9%	自分の職業の向き不向き	17.1%
職業能力の開発・能力アップ	15.3%	職業能力の開発・能力アップ	17.1%
将来のキャリア計画	13.2%	モチベーション・アップ	16.2%
モチベーション・アップ	12.5%	精神面の病気・不調	12.4%
残業や労働負荷	12.5%	資格取得	11.4%
資格取得	10.4%	将来のキャリア計画	10.5%
職場の上司との人間関係	10.4%	職場の上司との人間関係	9.5%

	50代 前半		50代 後半
転職	49.0%	転職	54.1%
仕事内容	27.5%	仕事内容	27.5%
モチベーション・アップ	13.7%	賃金や処遇	17.4%
職業能力の開発・能力アップ	13.7%	モチベーション・アップ	13.8%
自分の職業の向き不向き	11.8%	職業能力の開発・能力アップ	12.8%
賃金や処遇	11.8%	将来のキャリア計画	12.8%
将来のキャリア計画	10.8%	自分の職業の向き不向き	11.9%
職場の上司との人間関係	7.8%	定年後の就職、仕事	9.2%
会社の倒産・リストラ	6.9%	配置転換・出向・転籍	7.3%
職場の同僚との人間関係	6.9%	職場の上司との人間関係	7.3%

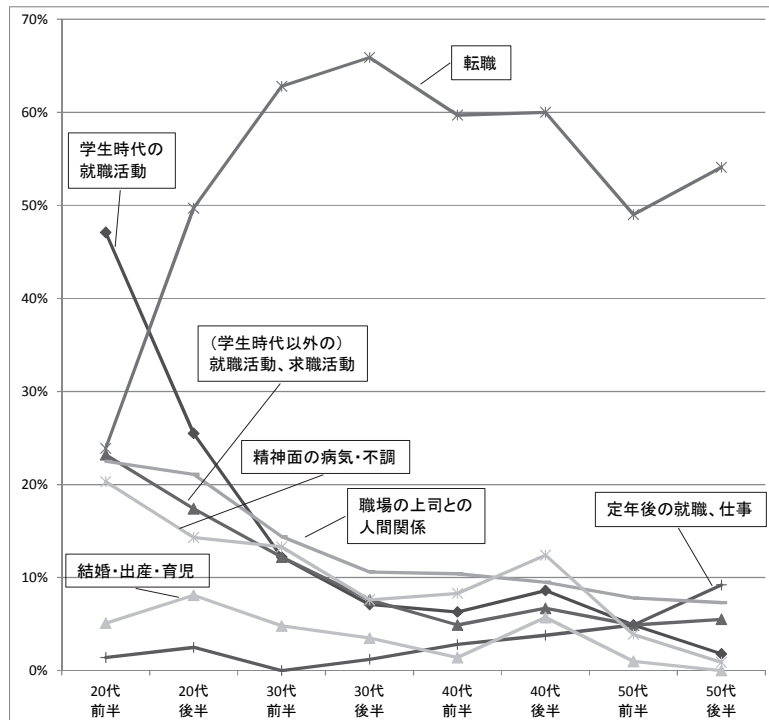
図表4-4 年齢別のキャリアコンサルティングの相談内容②(複数回答)

	20代 前半 N=138	20代 後半 N=161	30代 前半 N=188	30代 後半 N=170	40代 前半 N=144	40代 後半 N=105	50代 前半 N=102	50代 後半 N=109	全体
学生時代の就職活動	47.1%	25.5%	12.2%	7.1%	6.3%	8.6%	4.9%	1.8%	14.9%
(学生時代以外の)就職活動、求職活動	23.2%	17.4%	12.2%	7.6%	4.9%	6.7%	4.9%	5.5%	10.8%
転職	23.9%	49.7%	62.8%	65.9%	59.7%	60.0%	49.0%	54.1%	53.8%
会社の倒産・リストラ	0.7%	3.7%	2.1%	3.5%	3.5%	6.7%	6.9%	5.5%	3.8%
定年後の就職、仕事	1.4%	2.5%	0.0%	1.2%	2.8%	3.8%	4.9%	9.2%	2.8%
その他(職業選択)	1.4%	0.0%	1.1%	2.4%	2.1%	1.9%	1.0%	0.0%	1.3%
自分の職業の向き不向き	29.7%	32.3%	27.1%	28.8%	28.5%	17.1%	11.8%	11.9%	24.8%
モチベーション・アップ	23.2%	24.8%	23.9%	13.5%	12.5%	16.2%	13.7%	13.8%	18.3%
職業能力の開発・能力アップ	18.1%	18.0%	16.0%	18.8%	15.3%	17.1%	13.7%	12.8%	16.5%
資格取得	11.6%	12.4%	10.6%	10.6%	10.4%	11.4%	4.9%	5.5%	10.0%
進学・留学など	3.6%	5.6%	0.5%	3.5%	2.1%	1.9%	1.0%	0.9%	2.5%
将来のキャリア計画	17.4%	16.8%	19.1%	13.5%	13.2%	10.5%	10.8%	12.8%	14.8%
その他(能力開発)	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.2%
仕事内容	39.1%	39.8%	34.6%	37.6%	41.0%	28.6%	27.5%	27.5%	35.3%
賃金や処遇	19.6%	24.2%	23.9%	28.2%	22.9%	21.9%	11.8%	17.4%	22.0%
残業や労働負荷	15.2%	16.8%	12.2%	12.9%	12.5%	5.7%	3.9%	3.7%	11.2%
配置転換・出向・転籍	6.5%	6.8%	4.3%	8.8%	6.3%	3.8%	2.9%	7.3%	6.0%
昇進・昇格	2.9%	3.1%	3.2%	7.6%	6.9%	4.8%	2.0%	4.6%	4.5%
その他(労働条件)	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%	1.0%	1.8%	0.4%
職場の同僚との人間関係	10.9%	13.7%	7.4%	7.6%	8.3%	7.6%	6.9%	6.4%	8.8%
職場の上司との人間関係	22.5%	21.1%	14.4%	10.6%	10.4%	9.5%	7.8%	7.3%	13.5%
職場の部下との人間関係	2.9%	7.5%	5.3%	2.9%	3.5%	3.8%	2.0%	4.6%	4.2%
職場外の人との人間関係	3.6%	4.3%	5.3%	2.4%	0.7%	1.9%	1.0%	2.8%	3.0%
人間関係以外の仕事上のトラブル	2.2%	4.3%	1.1%	2.9%	2.1%	2.9%	2.9%	2.8%	2.6%
その他(人間関係のトラブル)	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.2%
精神面の病気・不調	20.3%	14.3%	13.3%	7.6%	8.3%	12.4%	3.9%	0.9%	10.7%
その他の病気・入院	3.6%	6.8%	3.7%	2.9%	1.4%	3.8%	3.9%	0.0%	3.4%
家族の介護	2.2%	3.7%	2.7%	1.8%	1.4%	2.9%	3.9%	1.8%	2.5%
結婚・出産・育児	5.1%	8.1%	4.8%	3.5%	1.4%	5.7%	1.0%	0.0%	3.9%
その他の個人的な深刻な悩み	6.5%	3.7%	2.1%	2.4%	3.5%	0.0%	5.9%	2.8%	3.3%
その他(個人的なこと)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	2.0%	0.9%	0.4%

※1%水準で統計的に有意に値が大きい箇所に網掛けを、値が小さい箇所に下線を付した。

また、図表4-6には、配偶者の有無別のキャリアコンサルティングの相談内容を示したが、基本的にはここまで示した年齢別の結果をなぞるものであった。すなわち、「配偶者なし」の者は年齢が若いので「配偶者あり」と比べて「学生時代の就職活動」「(学生時代以外の)就職活動、求職活動」「自分の職業の向き不向き」の回答が多かった。一方で、「配偶者あり」では「転職」「定年後の就職、仕事」の回答が「配偶者なし」と比べて多かった。

図表4-5 年齢別のキャリアコンサルティングの相談内容③(複数回答)



図表4-6 配偶者の有無別のキャリアコンサルティングの相談内容

	あり N=542	なし N=575
学生時代の就職活動	10.0%	19.5%
(学生時代以外の)就職活動、求職活動	7.0%	14.4%
転職	58.1%	49.7%
会社の倒産・リストラ	3.9%	3.7%
定年後の就職、仕事	4.2%	1.4%
その他(職業選択)	1.3%	1.2%
自分の職業の向き不向き	20.3%	29.0%
モチベーション・アップ	19.9%	16.7%
職業能力の開発・能力アップ	15.5%	17.4%
資格取得	9.4%	10.6%
進学・留学など	2.2%	2.8%
将来のキャリア計画	13.8%	15.7%
その他(能力開発)	0.0%	0.3%
仕事内容	32.5%	37.9%
賃金や処遇	23.1%	21.0%
残業や労働負荷	11.4%	11.0%
配置転換・出向・転籍	6.5%	5.6%
昇進・昇格	6.1%	3.0%
その他(労働条件)	0.9%	0.0%
職場の同僚との人間関係	9.0%	8.5%
職場の上司との人間関係	11.8%	15.1%
職場の部下との人間関係	4.6%	3.8%
職場外の人との人間関係	2.6%	3.3%
人間関係以外の仕事上のトラブル	2.4%	2.8%
その他(人間関係のトラブル)	0.0%	0.3%
精神面の病気・不調	9.0%	12.2%
その他の病気・入院	3.0%	3.8%
家族の介護	3.3%	1.7%
結婚・出産・育児	5.4%	2.6%
その他の個人的な深刻な悩み	2.8%	3.8%
その他(個人的なこと)	0.4%	0.3%

※1%水準で統計的に有意に値が大きい箇所に網掛け、値が小さい箇所に下線を付した。

3. 最終学歴・転職経験別の相談内容の特徴

図表4-7には、最終学歴別のキャリアコンサルティングの相談内容を示した。最終学歴が「中学・高校学校」の者は「自分の職業の向き不向き」、「大学院（文系）」の者は「職場の同僚との人間関係」の相談内容が、他と比べて統計的に有意に多かった。ただし、概して言えば、最終学歴別の相談内容には明確な傾向がみられたとは言い難い結果であった。

図表4-7 最終学歴別のキャリアコンサルティングの相談内容（複数回答）

	中学・ 高等 学校 N=156	専修 学校・ 短大・ 高専 N=178	大学 (文系) N=463	大学 (理系) N=219	大学院 (文系) N=30	大学院 (理系) N=71
学生時代の就職活動	9.0%	11.8%	16.4%	16.9%	26.7%	14.1%
(学生時代以外)の就職活動、求職活動	14.1%	10.1%	9.7%	12.8%	13.3%	5.6%
転職	50.6%	50.0%	56.4%	51.1%	50.0%	63.4%
会社の倒産・リストラ	7.1%	3.4%	3.2%	3.7%	6.7%	0.0%
定年後の就職、仕事	1.3%	3.4%	2.6%	4.6%	0.0%	1.4%
その他(職業選択)	1.3%	3.4%	0.9%	0.5%	0.0%	1.4%
自分の職業の向き不向き	36.5%	21.3%	25.7%	20.1%	10.0%	22.5%
モチベーション・アップ	17.9%	22.5%	16.8%	19.6%	10.0%	16.9%
職業能力の開発・能力アップ	18.6%	19.1%	15.8%	15.5%	20.0%	11.3%
資格取得	15.4%	11.2%	9.3%	8.2%	13.3%	4.2%
進学・留学など	1.9%	3.4%	1.7%	2.7%	10.0%	2.8%
将来のキャリア計画	13.5%	12.4%	15.8%	13.2%	33.3%	14.1%
その他(能力開発)	0.0%	0.6%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%
仕事内容	42.3%	39.3%	34.1%	30.6%	26.7%	35.2%
賃金や処遇	23.7%	25.3%	23.1%	18.7%	13.3%	16.9%
残業や労働負荷	12.8%	16.9%	10.2%	11.0%	0.0%	5.6%
配置転換・出向・転籍	2.6%	6.7%	6.3%	6.4%	10.0%	7.0%
昇進・昇格	7.7%	4.5%	2.8%	5.0%	3.3%	7.0%
その他(労働条件)	0.6%	1.1%	0.2%	0.5%	0.0%	0.0%
職場の同僚との人間関係	14.1%	14.0%	6.9%	5.0%	16.7%	4.2%
職場の上司との人間関係	14.1%	16.3%	13.4%	11.9%	16.7%	9.9%
職場の部下との人間関係	5.1%	5.1%	5.0%	2.3%	3.3%	1.4%
職場外の人との人間関係	1.9%	5.6%	3.0%	0.9%	6.7%	2.8%
人間関係以外の仕事上のトラブル	2.6%	4.5%	2.4%	1.8%	6.7%	0.0%
その他(人間関係のトラブル)	0.0%	0.6%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%
精神面の病気・不調	14.1%	15.2%	9.7%	7.8%	10.0%	7.0%
その他の病気・入院	2.6%	4.5%	3.5%	4.6%	0.0%	0.0%
家族の介護	1.3%	4.5%	2.8%	1.8%	0.0%	1.4%
結婚・出産・育児	3.2%	5.6%	3.9%	4.6%	0.0%	1.4%
その他の個人的な悩み	4.5%	4.5%	3.7%	0.9%	6.7%	1.4%
その他(個人的なこと)	0.6%	0.6%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%

※1%水準で統計的に有意に値が大きい箇所¹に網掛け、値が小さい箇所²に下線を付した。

図表4-8には、転職経験別のキャリアコンサルティングの相談内容を示した。図表から、相互に比較した場合、転職回数が「0回」では「学生時代の就職活動」「モチベーション・アップ」が多く、「転職」「仕事内容」が相対的に少なかった。一方で、転職回数が「3回以上」では「転職」「会社の倒産・リストラ」「仕事内容」の相談内容が他に比べて統計的に有意に多く、「モチベーションアップ」が他と比べて少なかったことが示される。

概して、転職回数が多いほど、まさに転職に関する相談内容が多く、あわせて会社の倒産やリストラに関する相談が多いことが示される。転職回数が多いほど、仕事内容に関する相談内容が多いのが特徴であった。

図表4-8 転職経験別のキャリアコンサルティングの相談内容(複数回答)

	0回 N=314	1回 N=256	2回 N=174	3回 以上 N=373
学生時代の就職活動	27.7%	15.6%	11.5%	5.1%
(学生時代以外の)就職活動、求職活動	10.8%	9.4%	14.4%	10.2%
転職	30.6%	61.7%	58.0%	66.0%
会社の倒産・リストラ	1.6%	3.1%	2.3%	6.7%
定年後の就職、仕事	4.5%	1.6%	1.7%	2.7%
その他(職業選択)	0.6%	0.0%	2.9%	1.9%
自分の職業の向き不向き	26.8%	19.1%	29.3%	24.9%
モチベーション・アップ	26.8%	15.2%	17.2%	13.7%
職業能力の開発・能力アップ	18.8%	14.8%	16.1%	15.8%
資格取得	7.0%	10.2%	10.3%	12.3%
進学・留学など	3.5%	2.7%	1.7%	1.9%
将来のキャリア計画	16.9%	16.0%	10.3%	14.2%
その他(能力開発)	0.0%	0.0%	0.6%	0.3%
仕事内容	28.7%	34.0%	36.8%	41.0%
賃金や処遇	16.9%	23.4%	25.9%	23.6%
残業や労働負荷	9.2%	10.9%	13.2%	12.1%
配置転換・出向・転籍	8.9%	5.1%	3.4%	5.4%
昇進・昇格	5.1%	4.3%	4.6%	4.0%
その他(労働条件)	0.6%	0.4%	0.0%	0.5%
職場の同僚との人間関係	9.6%	9.4%	6.3%	8.8%
職場の上司との人間関係	14.6%	12.1%	12.6%	13.9%
職場の部下との人間関係	4.8%	2.3%	5.2%	4.6%
職場外の人との人間関係	3.5%	2.3%	2.9%	2.9%
人間関係以外の仕事上のトラブル	2.5%	2.7%	1.7%	2.9%
その他(人間関係のトラブル)	0.3%	0.0%	0.0%	0.3%
精神面の病気・不調	12.1%	8.6%	8.6%	11.8%
その他の病気・入院	4.1%	4.3%	1.7%	2.9%
家族の介護	2.2%	2.0%	4.0%	2.4%
結婚・出産・育児	3.5%	4.7%	5.7%	2.9%
その他の個人的な深刻な悩み	2.9%	3.1%	2.9%	4.0%
その他(個人的なこと)	0.3%	0.0%	0.0%	0.8%

※1%水準で統計的に有意に値が大きい箇所に網掛け、値が小さい箇所に下線を付した。

4. 現在の勤務先の特徴別の相談内容の特徴

図表4-9には、雇用形態別のキャリアコンサルティングの相談内容を示した。嘱託社員では他と比べて「(学生時代以外の)就職活動、求職活動」「その他(労働条件)」の相談内容が多いという結果が示された。ただし、N=12と回答者数が少なく、十分な解釈のしにくい結果であった。また、契約社員では「自分の職業の向き不向き」が多かった。「その他」(おおむね自営業が中心)では「その他(職業選択)」の相談内容が多かった。これらの結果についても解釈がしにくく、概して言えば、雇用形態別のキャリアコンサルティングの相談内容に

解釈可能な明確な相違はみられなかったと言える²。

図表4-9 雇用形態別のキャリアコンサルティングの相談内容(複数回答)

	正社員 N=848	正社員 以外 嘱託 N=12	正社員 以外 契約 社員 N=65	正社員 以外 パート タイム 労働者 N=92	正社員 以外 派遣 労働者 N=53	その他 N=47
学生時代の就職活動	15.6%	16.7%	21.5%	13.0%	3.8%	8.5%
(学生時代以外の)就職活動、求職活動	8.1%	33.3%	20.0%	23.9%	20.8%	4.3%
転職	54.0%	50.0%	47.7%	47.8%	64.2%	59.6%
会社の倒産・リストラ	3.7%	0.0%	1.5%	3.3%	7.5%	6.4%
定年後の就職、仕事	3.2%	0.0%	1.5%	3.3%	0.0%	0.0%
その他(職業選択)	0.6%	0.0%	4.6%	2.2%	1.9%	6.4%
自分の職業の向き不向き	23.2%	16.7%	36.9%	35.9%	26.4%	14.9%
モチベーション・アップ	19.0%	25.0%	21.5%	17.4%	9.4%	10.6%
職業能力の開発・能力アップ	15.7%	25.0%	23.1%	15.2%	15.1%	23.4%
資格取得	9.0%	33.3%	12.3%	10.9%	13.2%	14.9%
進学・留学など	2.6%	8.3%	1.5%	3.3%	1.9%	0.0%
将来のキャリア計画	16.3%	25.0%	9.2%	7.6%	13.2%	8.5%
その他(能力開発)	0.1%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%
仕事内容	33.6%	50.0%	41.5%	39.1%	45.3%	34.0%
賃金や処遇	22.1%	16.7%	30.8%	21.7%	20.8%	12.8%
残業や労働負荷	11.2%	8.3%	13.8%	12.0%	9.4%	8.5%
配置転換・出向・転籍	6.6%	8.3%	4.6%	2.2%	5.7%	4.3%
昇進・昇格	5.0%	8.3%	3.1%	2.2%	1.9%	4.3%
その他(労働条件)	0.4%	8.3%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%
職場の同僚との人間関係	8.8%	8.3%	4.6%	13.0%	5.7%	8.5%
職場の上司との人間関係	13.2%	8.3%	12.3%	18.5%	13.2%	12.8%
職場の部下との人間関係	4.4%	16.7%	4.6%	3.3%	1.9%	2.1%
職場外の人との人間関係	2.8%	16.7%	3.1%	2.2%	5.7%	0.0%
人間関係以外の仕事上のトラブル	2.0%	8.3%	1.5%	7.6%	1.9%	4.3%
その他(人間関係のトラブル)	0.1%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%
精神面の病気・不調	9.3%	25.0%	13.8%	18.5%	11.3%	10.6%
その他の病気・入院	3.4%	8.3%	1.5%	4.3%	3.8%	2.1%
家族の介護	2.6%	8.3%	1.5%	2.2%	1.9%	2.1%
結婚・出産・育児	3.4%	8.3%	1.5%	7.6%	7.5%	4.3%
その他の個人的な深刻な悩み	2.8%	16.7%	6.2%	3.3%	5.7%	2.1%
その他(個人的なこと)	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※1%水準で統計的に有意に値が大きい箇所¹に網掛け、値が小さい箇所²に下線を付した。

図表4-10には、現在の勤務先の勤続年数別のキャリアコンサルティングの相談内容を示した。図表から統計的に有意な以下の結果が示された。

①勤続年数「1年未満」では他と比べて「学生時代の就職活動」「(学生時代以外の)就職活動、求職活動」「仕事内容」の相談内容が相対的に多かった。

² なお、「正社員」とそれ以外の「正社員以外」を集約して比較した場合も、1%水準で統計的に有意な違いがみられたのは「(学生時代以外の)就職活動、求職活動」のみであり、「正社員」の8.1%に対して「正社員以外」の19.3%が相談していた。これ以外は統計的に有意な違いはみられなかったが、これは単純に正規就労者と非正規就労者で相談内容が同じであるということの意味するのではない。現在、非正規就労者でかつ過去に相談を経験した者の相談内容が、正規就労者で相談を経験した者の相談内容と異なるということの意味する。すなわち、過去に相談しうる環境にあったという点では、正規・非正規の枠を超えて比較的似た環境にあったことが推測されるため、こうした結果になったと解釈される。

- ②勤続年数「3年以上5年未満」では他と比べて「転職」の相談内容が相対的に多かった。
- ③勤続年数「30年以上」では他と比べて「定年後の就職、仕事」「その他（人間関係のトラブル）」に関する相談内容が相対的に多かった。

図表4-10 現在の勤務先の勤続年数別のキャリアコンサルティングの相談内容(複数回答)

	1年 未満 N=176	1年 以上 3年 未満 N=233	3年 以上 5年 未満 N=183	5年 以上 10年 未満 N=250	10年 以上 20年 未満 N=168	20年 以上 30年 未満 N=73	30年 以上 N=34
学生時代の就職活動	23.3%	20.2%	14.8%	10.8%	9.5%	6.8%	8.8%
(学生時代以外の)就職活動、求職活動	22.2%	10.3%	13.1%	9.6%	4.8%	2.7%	0.0%
転職	56.3%	53.6%	59.6%	59.2%	50.0%	31.5%	38.2%
会社の倒産・リストラ	3.4%	6.0%	2.7%	4.0%	1.8%	2.7%	5.9%
定年後の就職、仕事	1.1%	0.0%	1.6%	2.4%	3.6%	11.0%	17.6%
その他(職業選択)	1.7%	0.9%	0.5%	1.2%	3.0%	0.0%	0.0%
自分の職業の向き不向き	28.4%	27.9%	22.4%	28.4%	21.4%	13.7%	11.8%
モチベーション・アップ	11.9%	17.2%	20.2%	19.6%	17.3%	30.1%	17.6%
職業能力の開発・能力アップ	10.8%	15.0%	21.9%	18.0%	14.3%	24.7%	8.8%
資格取得	7.4%	15.5%	11.5%	8.4%	8.9%	5.5%	5.9%
進学・留学など	1.7%	2.6%	2.7%	3.2%	1.8%	4.1%	0.0%
将来のキャリア計画	17.0%	15.9%	10.4%	14.4%	17.3%	15.1%	8.8%
その他(能力開発)	0.0%	0.4%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%
仕事内容	48.3%	40.8%	32.8%	31.6%	29.8%	23.3%	23.5%
賃金や処遇	23.9%	25.8%	26.8%	18.0%	20.8%	15.1%	11.8%
残業や労働負荷	11.9%	11.6%	15.8%	10.4%	9.5%	6.8%	2.9%
配置転換・出向・転籍	4.5%	5.2%	6.0%	4.0%	10.1%	6.8%	11.8%
昇進・昇格	1.7%	3.9%	4.4%	4.0%	7.1%	8.2%	5.9%
その他(労働条件)	1.1%	0.0%	0.5%	0.0%	0.6%	0.0%	2.9%
職場の同僚との人間関係	6.3%	7.3%	6.0%	13.2%	9.5%	9.6%	8.8%
職場の上司との人間関係	13.6%	18.5%	13.1%	12.0%	10.7%	12.3%	8.8%
職場の部下との人間関係	3.4%	2.1%	6.6%	4.0%	4.8%	4.1%	8.8%
職場外の人との人間関係	3.4%	3.0%	3.3%	2.8%	1.8%	4.1%	2.9%
人間関係以外の仕事上のトラブル	2.3%	2.6%	3.3%	1.6%	2.4%	5.5%	2.9%
その他(人間関係のトラブル)	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%
精神面の病気・不調	14.8%	12.0%	11.5%	10.4%	6.0%	9.6%	2.9%
その他の病気・入院	4.0%	2.1%	7.1%	1.6%	2.4%	6.8%	0.0%
家族の介護	1.1%	3.4%	3.8%	0.8%	3.0%	1.4%	8.8%
結婚・出産・育児	5.7%	5.2%	4.4%	2.8%	3.0%	2.7%	0.0%
その他の個人的な深刻な悩み	5.7%	3.4%	3.3%	0.4%	4.8%	5.5%	0.0%
その他(個人的なこと)	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	1.2%	1.4%	0.0%

※1%水準で統計的に有意に値が大きい箇所¹⁾に網掛け、値が小さい箇所²⁾に下線を付した。

概して、勤続年数が短い場合、就職活動や自分の職業の向き不向き、仕事内容に関する相談内容が多く、ある程度の勤続年数を経た後には資格取得や転職が多い。勤続年数が長くなると、モチベーションや職業能力の向上に関する相談が多く、勤続年数がかなり長くなると定年後に関する相談が多と言える。

なお、図表4-11には、現在の職業(仕事内容)別のキャリアコンサルティングの相談内容を示したが、1%水準では統計的に有意な結果はみられず、現在の仕事内容とキャリアコンサルティングの相談内容に明確な傾向はみられなかった。

図表4-11 現在の職業別のキャリアコンサルティングの相談内容(複数回答)

	管理的な 仕事 N=162	専門的・技 術的な仕事 N=375	事務的な 仕事 N=269	販売の 仕事・ サービス の仕事 N=198	生産工程、 建設、採掘 の仕事他 N=113
学生時代の就職活動	14.8%	11.7%	16.7%	15.2%	20.4%
(学生時代以外の)就職活動、求職活動	6.8%	12.0%	13.0%	8.1%	12.4%
転職	52.5%	56.5%	53.2%	58.1%	40.7%
会社の倒産・リストラ	5.6%	2.9%	5.2%	2.5%	2.7%
定年後の就職、仕事	4.9%	3.5%	0.4%	1.5%	5.3%
その他(職業選択)	0.0%	1.9%	1.1%	1.0%	1.8%
自分の職業の向き不向き	17.3%	22.9%	28.3%	28.8%	26.5%
モチベーション・アップ	19.1%	20.0%	14.5%	16.7%	23.0%
職業能力の開発・能力アップ	15.4%	17.6%	13.0%	17.7%	20.4%
資格取得	6.8%	9.6%	10.0%	11.6%	13.3%
進学・留学など	0.6%	4.0%	1.5%	1.0%	5.3%
将来のキャリア計画	18.5%	15.5%	17.1%	9.6%	10.6%
その他(能力開発)	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.9%
仕事内容	30.9%	36.3%	37.2%	38.9%	27.4%
賃金や処遇	26.5%	22.9%	20.1%	23.2%	15.0%
残業や労働負荷	10.5%	12.5%	11.2%	10.6%	8.8%
配置転換・出向・転籍	9.3%	6.7%	6.3%	2.5%	4.4%
昇進・昇格	8.0%	4.3%	3.3%	3.5%	4.4%
その他(労働条件)	0.6%	0.5%	0.7%	0.0%	0.0%
職場の同僚との人間関係	6.8%	9.1%	8.2%	8.6%	12.4%
職場の上司との人間関係	10.5%	16.3%	13.0%	11.6%	13.3%
職場の部下との人間関係	5.6%	4.0%	3.7%	3.5%	5.3%
職場外の人との人間関係	4.3%	2.7%	3.3%	1.5%	3.5%
人間関係以外の仕事上のトラブル	1.2%	3.2%	2.6%	2.5%	2.7%
その他(人間関係のトラブル)	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.9%
精神面の病気・不調	8.0%	10.9%	8.2%	11.1%	18.6%
その他の病気・入院	1.9%	4.5%	2.2%	4.0%	3.5%
家族の介護	4.3%	3.7%	1.1%	1.5%	0.9%
結婚・出産・育児	0.6%	5.6%	4.8%	3.0%	2.7%
その他の個人的な深刻な悩み	0.6%	3.2%	3.3%	4.0%	6.2%
その他(個人的なこと)	0.0%	0.0%	0.7%	1.0%	0.0%

※1%水準で統計的に有意な結果は示されなかった。

図表4-12には、現在の勤務先の従業員数別のキャリアコンサルティングの相談内容を示した。図表から「50～99人」で「(学生時代以外の)就職活動、求職活動」の相談内容が他と比べて統計的に有意に多かった。ただし、それ以外に統計的に有意な結果はみられず、従業員数別の結果についても、キャリアコンサルティングの相談内容に明確な傾向はみられなかったと言える。

図表4-12 現在の勤務先の従業員数別のキャリアコンサルティングの相談内容(複数回答)

	29人 以下 N=279	30～ 49人 N=65	50～ 99人 N=109	100～ 299人 N=171	300～ 499人 N=73	500～ 999人 N=96	1,000人 以上 N=324
学生時代の就職活動	11.1%	20.0%	11.9%	15.2%	13.7%	15.6%	17.9%
(学生時代以外の)就職活動、求職活動	11.8%	10.8%	22.0%	8.8%	5.5%	14.6%	7.4%
転職	52.0%	50.8%	62.4%	59.6%	63.0%	53.1%	48.1%
会社の倒産・リストラ	5.0%	1.5%	2.8%	5.8%	2.7%	3.1%	2.8%
定年後の就職、仕事	3.2%	3.1%	1.8%	0.0%	4.1%	3.1%	3.7%
その他(職業選択)	1.8%	0.0%	1.8%	1.8%	0.0%	2.1%	0.6%
自分の職業の向き不向き	26.9%	27.7%	32.1%	22.8%	23.3%	21.9%	22.2%
モチベーション・アップ	16.5%	16.9%	20.2%	18.7%	17.8%	12.5%	21.0%
職業能力の開発・能力アップ	15.4%	15.4%	18.3%	18.7%	16.4%	16.7%	15.7%
資格取得	12.5%	7.7%	11.0%	13.5%	15.1%	8.3%	5.6%
進学・留学など	2.2%	1.5%	4.6%	2.3%	2.7%	4.2%	1.9%
将来のキャリア計画	12.5%	15.4%	11.0%	13.5%	20.5%	11.5%	18.2%
その他(能力開発)	0.0%	0.0%	0.9%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%
仕事内容	36.9%	40.0%	33.0%	36.3%	43.8%	32.3%	32.1%
賃金や処遇	21.5%	24.6%	25.7%	22.2%	15.1%	20.8%	22.5%
残業や労働負荷	11.1%	10.8%	13.8%	11.7%	8.2%	7.3%	12.0%
配置転換・出向・転籍	3.6%	6.2%	7.3%	5.8%	4.1%	6.3%	8.0%
昇進・昇格	3.9%	7.7%	4.6%	4.1%	1.4%	7.3%	4.3%
その他(労働条件)	0.4%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	1.0%	0.6%
職場の同僚との人間関係	11.1%	7.7%	8.3%	9.4%	11.0%	6.3%	7.1%
職場の上司との人間関係	14.7%	12.3%	16.5%	15.2%	15.1%	9.4%	11.7%
職場の部下との人間関係	4.3%	3.1%	3.7%	2.9%	8.2%	3.1%	4.6%
職場外の人との人間関係	2.2%	1.5%	6.4%	2.3%	5.5%	1.0%	3.1%
人間関係以外の仕事上のトラブル	3.2%	4.6%	2.8%	1.8%	5.5%	1.0%	1.9%
その他(人間関係のトラブル)	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
精神面の病気・不調	12.2%	16.9%	11.0%	11.1%	11.0%	6.3%	9.0%
その他の病気・入院	3.6%	1.5%	7.3%	3.5%	1.4%	3.1%	2.8%
家族の介護	2.5%	1.5%	2.8%	2.3%	2.7%	4.2%	2.2%
結婚・出産・育児	3.6%	3.1%	7.3%	2.9%	6.8%	4.2%	3.1%
その他の個人的な深刻な悩み	4.7%	3.1%	5.5%	4.1%	1.4%	3.1%	1.5%
その他(個人的なこと)	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	0.0%

※1%水準で統計的に有意に値が大きい箇所に網掛け、値が小さい箇所に下線を付した。

図表4-13には、現在の役職別のキャリアコンサルティングの相談内容を示した。図表から「課長相当職」では他と比べて「定年後の就職、仕事」「昇進・昇格」が相対的に多かった。「係長、主任、課長相当職」では他と比べて「職場の上司との人間関係」が相対的に多かった。「役職は特になし」では他と比べて「学生時代の就職活動」「(学生時代以外の)就職活動、求職活動」「自分の職業の向き不向き」の相談内容が相対的に多かった。おおむね役職と年齢は対応しており、職位が上であるほど年齢が高い回答者の相談内容と解釈される結果であった。

図表4-13 現在の役職別のキャリアコンサルティングの相談内容(複数回答)

	経営者、 役員、 部長 相当職 N=122	課長 相当職 N=123	係長、 主任、 職長 相当職 N=184	役職は 特になし N=673
学生時代の就職活動	9.0%	8.9%	10.3%	18.1%
(学生時代以外の)就職活動、求職活動	9.0%	5.7%	4.9%	13.5%
転職	54.1%	56.1%	58.2%	52.2%
会社の倒産・リストラ	2.5%	4.9%	4.3%	3.7%
定年後の就職、仕事	5.7%	8.1%	2.2%	1.5%
その他(職業選択)	2.5%	0.0%	1.1%	1.2%
自分の職業の向き不向き	17.2%	13.0%	23.9%	28.1%
モチベーション・アップ	16.4%	24.4%	22.3%	16.3%
職業能力の開発・能力アップ	14.8%	13.0%	21.7%	15.9%
資格取得	10.7%	6.5%	6.0%	11.7%
進学・留学など	0.8%	2.4%	2.7%	2.8%
将来のキャリア計画	17.2%	15.4%	14.7%	14.1%
その他(能力開発)	0.0%	0.0%	0.5%	0.1%
仕事内容	29.5%	28.5%	29.3%	38.8%
賃金や処遇	26.2%	19.5%	23.9%	21.2%
残業や労働負荷	7.4%	12.2%	12.0%	11.6%
配置転換・出向・転籍	4.1%	5.7%	10.3%	5.2%
昇進・昇格	5.7%	8.9%	7.6%	2.7%
その他(労働条件)	0.0%	0.8%	0.5%	0.4%
職場の同僚との人間関係	6.6%	7.3%	11.4%	8.5%
職場の上司との人間関係	6.6%	7.3%	16.3%	14.9%
職場の部下との人間関係	5.7%	4.9%	7.6%	2.8%
職場外の人との人間関係	4.1%	2.4%	2.7%	3.0%
人間関係以外の仕事上のトラブル	4.1%	0.8%	2.2%	2.5%
その他(人間関係のトラブル)	0.0%	0.8%	0.0%	0.1%
精神面の病気・不調	11.5%	7.3%	8.7%	11.6%
その他の病気・入院	3.3%	4.1%	2.7%	3.4%
家族の介護	3.3%	5.7%	1.6%	2.1%
結婚・出産・育児	1.6%	2.4%	4.3%	4.6%
その他の個人的な深刻な悩み	2.5%	1.6%	2.2%	3.9%
その他(個人的なこと)	1.6%	0.0%	0.5%	0.1%

※1%水準で統計的に有意に値が大きい箇所(網掛け)、値が小さい箇所に下線を付した。

5. 就労時間・個人年収・世帯年収別の相談内容の特徴

図表4-14には、1週間の就労時間別のキャリアコンサルティングの相談内容を示した。明確な結果がみられたのは2箇所であり、1週間の就労時間が「30～35時間未満」の回答者は「人間関係以外の仕事上のトラブル」「精神面の病気・不調」などの相談内容が他と比べて相対的に多かった。やや短い時間で働いている回答者で人間関係その他のトラブル、精神面での不調などに関する相談内容が多いと解釈できる結果であった。ただし、それ以外は明確な結果はみられず、概して言えば、就労時間の長さでキャリアコンサルティングの相談内容にははっきりとした関係はみられなかったと言える。

図表4-14 1週間の就労時間別のキャリアコンサルティングの相談内容(複数回答)

	30時間 未満 N=167	30～ 35時間 未満 N=87	35～ 40時間 未満 N=180	40～ 45時間 未満 N=289	45～ 50時間 未満 N=187	50～ 55時間 未満 N=86	55～ 60時間 未満 N=50	60時間 以上 N=71
学生時代の就職活動	17.4%	21.8%	16.1%	14.2%	10.2%	10.5%	14.0%	18.3%
(学生時代以外の)就職活動、求職活動	15.6%	14.9%	11.7%	9.3%	8.0%	11.6%	2.0%	11.3%
転職	52.1%	44.8%	53.3%	54.3%	56.1%	66.3%	52.0%	47.9%
会社の倒産・リストラ	4.8%	5.7%	4.4%	4.5%	2.1%	2.3%	2.0%	1.4%
定年後の就職、仕事	3.0%	2.3%	1.1%	3.5%	3.2%	2.3%	2.0%	4.2%
その他(職業選択)	0.6%	2.3%	1.7%	0.0%	1.6%	1.2%	4.0%	2.8%
自分の職業の向き不向き	26.9%	34.5%	21.7%	22.5%	20.9%	36.0%	16.0%	28.2%
モチベーション・アップ	17.4%	21.8%	16.1%	16.3%	21.9%	17.4%	20.0%	19.7%
職業能力の開発・能力アップ	16.2%	14.9%	18.3%	14.9%	18.2%	16.3%	16.0%	16.9%
資格取得	13.8%	12.6%	12.2%	8.7%	9.1%	4.7%	10.0%	7.0%
進学・留学など	3.6%	2.3%	0.6%	2.8%	2.1%	3.5%	4.0%	2.8%
将来のキャリア計画	9.6%	14.9%	14.4%	15.9%	17.1%	15.1%	18.0%	14.1%
その他(能力開発)	0.0%	0.0%	0.6%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
仕事内容	37.7%	39.1%	37.8%	32.9%	35.3%	33.7%	38.0%	28.2%
賃金や処遇	19.2%	26.4%	23.3%	20.8%	23.0%	20.9%	30.0%	18.3%
残業や労働負荷	9.6%	14.9%	11.7%	10.0%	10.7%	15.1%	14.0%	8.5%
配置転換・出向・転籍	6.0%	4.6%	6.7%	6.2%	8.0%	2.3%	6.0%	4.2%
昇進・昇格	3.0%	3.4%	6.1%	3.1%	6.4%	2.3%	6.0%	7.0%
その他(労働条件)	1.2%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%
職場の同僚との人間関係	12.6%	10.3%	10.0%	8.3%	7.0%	3.5%	12.0%	5.6%
職場の上司との人間関係	15.6%	23.0%	11.7%	9.7%	10.2%	17.4%	20.0%	16.9%
職場の部下との人間関係	5.4%	4.6%	5.0%	4.5%	1.1%	4.7%	6.0%	4.2%
職場外の人との人間関係	5.4%	5.7%	3.3%	2.4%	0.5%	1.2%	2.0%	4.2%
人間関係以外の仕事上のトラブル	1.8%	10.3%	2.2%	3.1%	0.5%	1.2%	0.0%	2.8%
その他(人間関係のトラブル)	0.0%	0.0%	0.6%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
精神面の病気・不調	16.2%	19.5%	9.4%	7.3%	7.5%	12.8%	10.0%	9.9%
その他の病気・入院	3.6%	8.0%	3.3%	2.8%	1.1%	4.7%	6.0%	2.8%
家族の介護	3.0%	3.4%	2.2%	4.2%	0.0%	2.3%	0.0%	2.8%
結婚・出産・育児	6.6%	9.2%	3.9%	3.5%	2.1%	3.5%	2.0%	0.0%
その他の個人的な深刻な悩み	3.6%	5.7%	1.7%	2.1%	4.8%	3.5%	6.0%	2.8%
その他(個人的なこと)	0.0%	0.0%	0.6%	0.7%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%

※1%水準で統計的に有意に値が大きい箇所に網掛け、値が小さい箇所に下線を付した。

図表4-15には、最近1年間の個人年収(税込み)別のキャリアコンサルティングの相談内容を示した。統計的に有意な箇所が比較的多くみられており、年収と相談内容には一定の関係があることが示される。具体的には、以下のとおりであった。

①年収「200万円未満」では他と比べて「(学生時代以外の)就職活動、求職活動」「自分の職業の向き不向き」「職場の上司との人間関係」「精神面の病気・不調」の相談内容が相対的に多かった。

②年収「400万円未満」では他と比べて「学生時代の就職活動」の相談内容が相対的に多かった。

③年収「600万円未満」では他と比べて「転職」の相談内容が相対的に多かった。

④年収「600万円以上」では他と比べて「定年後の就職、仕事」「将来のキャリア計画」の相談内容が相対的に多かった。

図表4-15 最近1年間の個人年収別のキャリアコンサルティングの相談内容(複数回答)

	200万円 未満 N=163	400万円 未満 N=358	600万円 未満 N=292	600万円 以上 N=304
学生時代の就職活動	18.4%	22.3%	10.3%	8.6%
(学生時代以外の)就職活動、求職活動	19.0%	14.5%	7.5%	5.3%
転職	44.8%	51.4%	60.3%	55.3%
会社の倒産・リストラ	5.5%	2.8%	4.5%	3.3%
定年後の就職、仕事	1.2%	1.1%	3.1%	5.3%
その他(職業選択)	3.7%	0.8%	0.7%	1.0%
自分の職業の向き不向き	31.3%	29.1%	24.7%	16.4%
モチベーション・アップ	15.3%	17.6%	18.8%	20.1%
職業能力の開発・能力アップ	17.2%	17.0%	17.8%	14.1%
資格取得	11.7%	11.7%	12.0%	5.3%
進学・留学など	0.6%	2.5%	2.4%	3.6%
将来のキャリア計画	6.1%	16.2%	16.1%	16.4%
その他(能力開発)	0.6%	0.0%	0.3%	0.0%
仕事内容	36.2%	40.5%	32.9%	30.9%
賃金や処遇	19.6%	24.0%	21.6%	21.4%
残業や労働負荷	8.6%	15.4%	11.3%	7.6%
配置転換・出向・転籍	1.2%	7.3%	5.8%	7.2%
昇進・昇格	3.7%	2.5%	5.1%	6.6%
その他(労働条件)	1.2%	0.3%	0.3%	0.3%
職場の同僚との人間関係	8.0%	9.5%	11.0%	6.3%
職場の上司との人間関係	16.0%	15.1%	16.4%	7.6%
職場の部下との人間関係	3.1%	4.5%	5.1%	3.6%
職場外の人との人間関係	4.3%	4.2%	1.0%	2.6%
人間関係以外の仕事上のトラブル	3.7%	3.6%	1.0%	2.3%
その他(人間関係のトラブル)	0.6%	0.0%	0.0%	0.3%
精神面の病気・不調	19.0%	11.2%	9.6%	6.6%
その他の病気・入院	4.9%	2.2%	4.1%	3.3%
家族の介護	1.8%	2.5%	3.1%	2.3%
結婚・出産・育児	5.5%	4.7%	4.1%	2.0%
その他の個人的な深刻な悩み	4.9%	4.5%	2.1%	2.3%
その他(個人的なこと)	0.0%	0.6%	0.0%	0.7%

※1%水準で統計的に有意に値が大きい箇所に網掛け、値が小さい箇所に下線を付した。

概して言えば、先述した役職別の結果と同様、年齢と年収は緩やかに関連しており、年齢に応じた相談内容が明確な結果として現れている。例えば、年収が低い回答者では、就職活動や職業選択、その裏返しの自分の職業の向き不向きに関する相談、上司との人間関係や精神面での病気などが多い。一方で、年収が高い者では転職、定年後の就職、将来のキャリア計画が多い。年齢の影響は強いと言えるであろう。

図表4-16には、最近1年間の世帯年収(税込み)別のキャリアコンサルティングの相談内容を示した。統計的に有意な結果は比較的少なく、「学生時代の就職活動」「自分の職業の向き・不向き」「将来のキャリア計画」のみであった。「学生時代の就職活動」は、他に比べて相対的に「400万円未満」で統計的に有意に多く、「1200万円以上」では相対的に少なかった。「自分の職業の向き不向き」は他に比べて「400万円以上」で相対的に多く、「1200万円以上」で相対的に少なかった。「将来のキャリア計画」は他に比べて「1200万円以上」で相対的に多く、「400万円未満」で相対的に少なかった。

図表4-16 最近1年間の世帯年収別のキャリアコンサルティングの相談内容(複数回答)

	400万円 未満 N=248	400万円 以上 N=485	800万円 以上 N=251	1200万円 以上 N=133
学生時代の就職活動	21.8%	12.8%	13.9%	11.3%
(学生時代以外の)就職活動、求職活動	14.1%	10.5%	9.2%	9.0%
転職	47.6%	56.7%	55.4%	51.9%
会社の倒産・リストラ	4.8%	3.1%	3.6%	4.5%
定年後の就職、仕事	2.0%	2.5%	3.2%	4.5%
その他(職業選択)	1.6%	1.6%	0.4%	0.8%
自分の職業の向き不向き	28.2%	28.5%	19.5%	15.0%
モチベーション・アップ	15.3%	18.6%	19.5%	20.3%
職業能力の開発・能力アップ	17.7%	15.7%	17.9%	14.3%
資格取得	10.9%	9.9%	9.6%	9.8%
進学・留学など	2.0%	1.6%	4.0%	3.8%
将来のキャリア計画	11.3%	14.6%	13.1%	24.8%
その他(能力開発)	0.0%	0.2%	0.4%	0.0%
仕事内容	35.5%	34.8%	36.3%	34.6%
賃金や処遇	21.0%	21.6%	23.1%	23.3%
残業や労働負荷	10.9%	10.3%	15.5%	6.8%
配置転換・出向・転籍	4.4%	5.8%	8.4%	5.3%
昇進・昇格	2.4%	4.1%	5.6%	7.5%
その他(労働条件)	0.4%	0.2%	1.2%	0.0%
職場の同僚との人間関係	7.7%	10.1%	8.0%	7.5%
職場の上司との人間関係	14.5%	14.0%	13.9%	9.0%
職場の部下との人間関係	3.2%	4.5%	4.0%	5.3%
職場外の人との人間関係	4.0%	2.1%	3.6%	3.0%
人間関係以外の仕事上のトラブル	3.6%	2.3%	1.6%	3.8%
その他(人間関係のトラブル)	0.0%	0.2%	0.4%	0.0%
精神面の病気・不調	13.7%	10.7%	10.4%	5.3%
その他の病気・入院	4.0%	2.7%	2.4%	6.8%
家族の介護	1.6%	2.7%	2.8%	3.0%
結婚・出産・育児	3.6%	5.4%	2.0%	3.0%
その他の個人的な深刻な悩み	3.6%	3.9%	2.8%	1.5%
その他(個人的なこと)	0.4%	0.4%	0.4%	0.0%

※1%水準で統計的に有意に値が大きい箇所に網掛け、値が小さい箇所に下線を付した。

6. 相談場所・機関、相談担当者別の相談内容の特徴

本節および次節では、どのような場所・機関で相談したのか(相談場所・機関)、誰に相談したのか(相談担当者)、これまでに何回相談を経験したことがあるのか(相談経験数)、相談したのは何歳の頃か(相談時の年齢)、相談してから何年経ったか(相談経過年数)といった観点から相談内容を検討した。

図表4-17に、相談場所・機関別のキャリアコンサルティングの相談内容を示した。表から、相談場所・機関と相談内容はよく対応していることが示される。具体的には、「企業内(人事部)」では「モチベーション・アップ」「職場の同僚との人間関係」の相談内容が、他と比べて統計的に有意に多かった。以下、「企業内(人事部以外)」は「モチベーション・アップ」「配置転換・出向・転籍」「職場外の人との人間関係」、「企業外」は「転職」、「学校」は「学生時代の就職活動」「進学・留学など」「その他の個人的な深刻な悩み」、「公的機関」

は「(学生時代以外の)就職活動、求職活動」、「その他」は「その他(職業選択)」「その他の個人的な深刻な悩み」「その他(個人的なこと)」がそれぞれ統計的に有意に多かった。

図表4-17 相談場所・機関別のキャリアコンサルティングの相談内容(複数回答)

	企業内 (人事部) N=140	企業内 (人事部 以外) N=98	企業外 N=495	学校 N=107	公的機関 N=260	その他 N=17	全体
学生時代の就職活動	15.0%	16.3%	5.1%	79.4%	7.3%	0.0%	14.9%
(学生時代以外の)就職活動、求職活動	11.4%	9.2%	6.3%	14.0%	19.2%	0.0%	10.8%
転職	27.9%	26.5%	73.3%	9.3%	58.1%	70.6%	53.8%
会社の倒産・リストラ	5.7%	2.0%	4.2%	0.0%	4.2%	0.0%	3.8%
定年後の就職、仕事	6.4%	3.1%	2.6%	0.9%	1.9%	0.0%	2.8%
その他(職業選択)	0.7%	2.0%	0.4%	0.0%	2.7%	11.8%	1.3%
自分の職業の向き不向き	21.4%	20.4%	21.6%	29.0%	32.7%	23.5%	24.8%
モチベーション・アップ	29.3%	32.7%	16.6%	15.9%	10.8%	23.5%	18.3%
職業能力の開発・能力アップ	17.9%	24.5%	14.5%	13.1%	17.7%	17.6%	16.5%
資格取得	10.0%	9.2%	7.7%	11.2%	15.0%	0.0%	10.0%
進学・留学など	2.1%	1.0%	1.8%	8.4%	1.9%	5.9%	2.5%
将来のキャリア計画	12.9%	12.2%	15.8%	23.4%	11.5%	11.8%	14.8%
その他(能力開発)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	0.2%
仕事内容	31.4%	29.6%	33.1%	34.6%	43.8%	35.3%	35.3%
賃金や処遇	15.0%	17.3%	25.5%	14.0%	24.6%	17.6%	22.0%
残業や労働負荷	12.1%	17.3%	10.3%	13.1%	9.6%	5.9%	11.2%
配置転換・出向・転籍	8.6%	17.3%	4.4%	4.7%	3.5%	11.8%	6.0%
昇進・昇格	7.1%	6.1%	4.6%	3.7%	2.7%	0.0%	4.5%
その他(労働条件)	0.0%	1.0%	0.2%	0.0%	0.8%	5.9%	0.4%
職場の同僚との人間関係	19.3%	14.3%	5.9%	7.5%	7.3%	5.9%	8.8%
職場の上司との人間関係	19.3%	22.4%	10.9%	11.2%	12.7%	17.6%	13.5%
職場の部下との人間関係	5.7%	9.2%	3.6%	3.7%	3.1%	0.0%	4.2%
職場外の人との人間関係	5.7%	8.2%	1.2%	3.7%	2.3%	5.9%	3.0%
人間関係以外の仕事上のトラブル	1.4%	4.1%	1.6%	5.6%	2.7%	11.8%	2.6%
その他(人間関係のトラブル)	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.2%
精神面の病気・不調	15.0%	17.3%	6.3%	12.1%	13.1%	17.6%	10.7%
その他の病気・入院	6.4%	4.1%	2.6%	3.7%	3.1%	0.0%	3.4%
家族の介護	5.0%	4.1%	1.8%	0.9%	2.7%	0.0%	2.5%
結婚・出産・育児	3.6%	5.1%	3.8%	2.8%	4.6%	0.0%	3.9%
その他の個人的な深刻な悩み	1.4%	1.0%	1.8%	8.4%	5.0%	17.6%	3.3%
その他(個人的なこと)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	11.8%	0.4%

※1%水準で統計的に有意に値が大きい箇所(網かけ)を、値が小さい箇所に下線を付した。

概して、企業の中ではモチベーション・アップや配置転換・出向・転籍、職場内外の人間関係に関する相談内容が多く、企業の外では転職の相談が多い。学校では、就職活動や進学・留学の相談、公的機関では学校卒業後の就職活動の相談が多い。その他の相談機関では、まさにその他の様々な相談内容が多いと整理できる。

図表4-18には、相談担当者別のキャリアコンサルティングの相談内容を示した。前述の相談機関・場所と相談担当者は関連が深いため、ここでも相談担当者(相談内容)に対応関係がみられる。具体的には、「キャリアに関する相談の専門家」では「転職」の相談が他に比べて統計的に有意に多かった。以下、「キャリア以外に関する相談の専門家」では「職場外の人との人間関係」「人間関係以外の仕事上のトラブル」「精神面の病気・不調」、「その他の関

連する担当者」では「学生時代の就職活動」、「その他」では「その他（職業選択）」、「人間関係以外の仕事上のトラブル」「その他の個人的な深刻な悩み」「その他（個人的なこと）」が、それぞれ統計的に有意に多かった。

図表4-18 相談担当者別のキャリアコンサルティングの相談内容(複数回答)

	キャリアに関する相談の専門家 N=683	キャリア以外に関する相談の専門家 N=196	その他の関連する担当者 N=214	その他 N=24	全体
学生時代の就職活動	10.5%	12.8%	31.8%	4.2%	14.9%
(学生時代以外の)就職活動、求職活動	9.4%	13.3%	14.5%	0.0%	10.8%
転職	63.7%	42.3%	32.7%	54.2%	53.8%
会社の倒産・リストラ	4.2%	5.1%	1.4%	0.0%	3.8%
定年後の就職、仕事	2.6%	3.6%	2.8%	0.0%	2.8%
その他(職業選択)	0.4%	3.1%	1.4%	8.3%	1.3%
自分の職業の向き不向き	25.3%	24.0%	24.3%	20.8%	24.8%
モチベーション・アップ	17.3%	24.0%	16.4%	16.7%	18.3%
職業能力の開発・能力アップ	16.4%	18.4%	14.0%	25.0%	16.5%
資格取得	9.5%	11.7%	10.7%	4.2%	10.0%
進学・留学など	1.8%	4.1%	3.3%	4.2%	2.5%
将来のキャリア計画	16.4%	8.7%	15.0%	16.7%	14.8%
その他(能力開発)	0.0%	0.5%	0.5%	0.0%	0.2%
仕事内容	36.5%	35.7%	31.3%	33.3%	35.3%
賃金や処遇	23.1%	19.4%	19.6%	33.3%	22.0%
残業や労働負荷	9.8%	16.3%	10.7%	12.5%	11.2%
配置転換・出向・転籍	5.3%	6.1%	7.0%	16.7%	6.0%
昇進・昇格	4.1%	3.6%	6.1%	8.3%	4.5%
その他(労働条件)	0.1%	0.5%	0.9%	4.2%	0.4%
職場の同僚との人間関係	7.6%	12.8%	9.3%	4.2%	8.8%
職場の上司との人間関係	12.4%	19.4%	11.7%	12.5%	13.5%
職場の部下との人間関係	3.2%	8.2%	4.2%	0.0%	4.2%
職場外の人との人間関係	1.3%	8.2%	3.7%	0.0%	3.0%
人間関係以外の仕事上のトラブル	1.3%	5.6%	2.8%	12.5%	2.6%
その他(人間関係のトラブル)	0.0%	0.5%	0.5%	0.0%	0.2%
精神面の病気・不調	8.1%	21.4%	9.3%	8.3%	10.7%
その他の病気・入院	3.1%	6.1%	1.9%	4.2%	3.4%
家族の介護	2.2%	4.1%	2.3%	0.0%	2.5%
結婚・出産・育児	3.8%	5.6%	3.3%	0.0%	3.9%
その他の個人的な深刻な悩み	1.8%	5.6%	4.7%	16.7%	3.3%
その他(個人的なこと)	0.0%	0.5%	0.5%	8.3%	0.4%

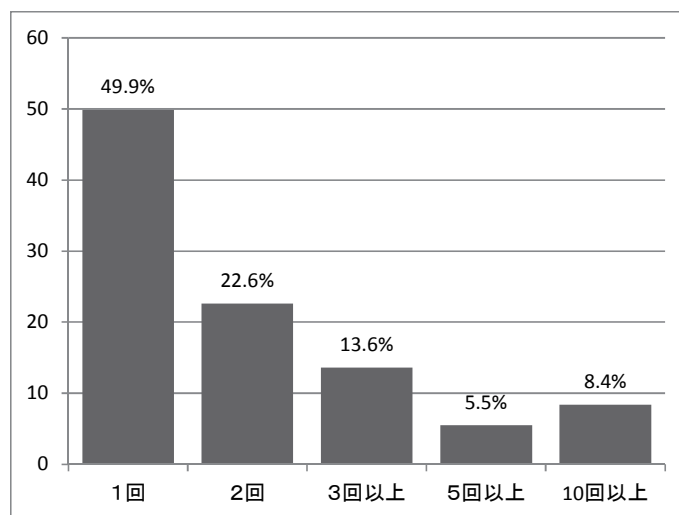
※1%水準で統計的に有意に値が大きい箇所に網かけを、値が小さい箇所に下線を付した。

概して、キャリア相談の専門家は転職の相談、それ以外の相談の専門家は人間関係と精神面の不調、その他の関連する担当者は学生時代の就職活動の相談内容が多いとまとめられる。ここでも、相談の担当者や関連する担当者ではない「その他」の担当者は、まさに様々な内容の「その他」の相談に乗ることが多いことも確認された。

7. 相談経験数、相談経過年数別の相談内容の特徴

図表4-19にキャリアコンサルティングの相談経験数を図示した。調査時の具体的な設問の文言は「今までに、何回、相談したことがありますか」であった³。図から、最も多いのは「1回」49.9%であり、以下、「2回」22.6%、「3回以上」13.6%と続いていた。

図表4-19 キャリアコンサルティングの相談経験数



図表4-20には、相談経験数別の相談内容を示した。表から、相談経験が「1回」では「転職」「モチベーション・アップ」「職業能力の開発・能力アップ」「将来のキャリア計画」「賃金や処遇」「残業や労働負荷」「職場の上司との人間関係」「職場の部下との人間関係」「精神面の病気・不調」の相談内容が他と比べて時に少なく、一方で、これまでに複数回、相談を経験している者で多かった。特に、「2回」相談を経験した者では「転職」の相談をした者が他と比べて多かった。また、「モチベーション・アップ」「残業や労働負荷」「職場の上司との人間関係」「精神面の病気・不調」「その他の病気・入院」は他と比べて「3回以上」で、「資格取得」「進学・留学」「将来のキャリア計画」は他と比べて「5回以上」の相談経験がある者で多かった。

³ なお、本調査では調査票冒頭部分で「キャリアに関する相談」を次のとおり説明した。「この調査で「キャリアに関する相談」とは、就職、転職、離職、再就職、復職のほか、職場の人間関係、ハラスメント、長時間労働のほか、職業や仕事に関する相談ごとすべてを含みます。※「キャリアに関する相談」かどうか迷う場合は、「キャリアに関する相談」をしたことがあるものとしてお答えください」

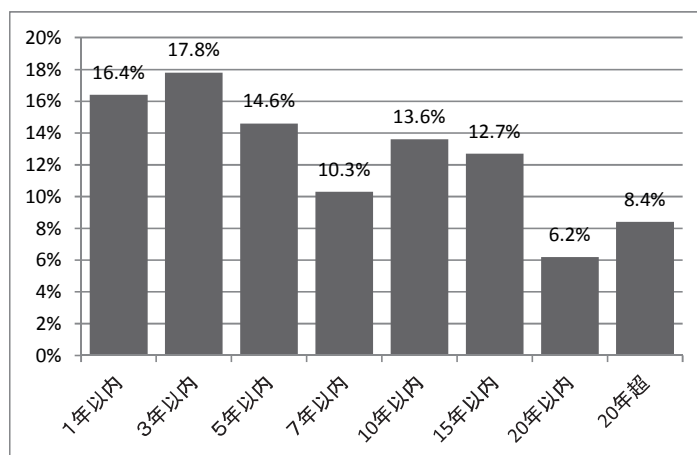
図表4-20 相談経験数別のキャリアコンサルティングの相談内容(複数回答)

	1回 N=557	2回 N=253	3回 以上 N=152	5回 以上 N=61	10回 以上 N=94	全体
学生時代の就職活動	14.9%	10.3%	16.4%	19.7%	21.3%	14.9%
(学生時代以外の)就職活動、求職活動	10.1%	8.7%	12.5%	19.7%	12.8%	10.8%
転職	47.0%	66.0%	58.6%	60.7%	48.9%	53.8%
会社の倒産・リストラ	3.2%	4.3%	3.9%	4.9%	4.3%	3.8%
定年後の就職、仕事	2.9%	3.2%	1.3%	3.3%	3.2%	2.8%
その他(職業選択)	0.5%	1.2%	3.9%	1.6%	1.1%	1.3%
自分の職業の向き不向き	20.5%	30.0%	30.3%	26.2%	26.6%	24.8%
モチベーション・アップ	14.4%	17.8%	28.9%	27.9%	19.1%	18.3%
職業能力の開発・能力アップ	12.2%	20.2%	21.1%	24.6%	19.1%	16.5%
資格取得	7.4%	12.6%	9.9%	21.3%	11.7%	10.0%
進学・留学など	2.0%	2.8%	2.0%	9.8%	1.1%	2.5%
将来のキャリア計画	11.5%	16.6%	18.4%	27.9%	14.9%	14.8%
その他(能力開発)	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%
仕事内容	31.2%	41.9%	40.1%	41.0%	29.8%	35.3%
賃金や処遇	17.2%	23.7%	28.3%	34.4%	27.7%	22.0%
残業や労働負荷	7.9%	12.6%	18.4%	13.1%	13.8%	11.2%
配置転換・出向・転籍	4.1%	7.5%	8.6%	6.6%	8.5%	6.0%
昇進・昇格	3.8%	5.1%	6.6%	4.9%	3.2%	4.5%
その他(労働条件)	0.4%	0.4%	0.7%	0.0%	1.1%	0.4%
職場の同僚との人間関係	7.2%	8.7%	13.8%	9.8%	9.6%	8.8%
職場の上司との人間関係	9.2%	15.0%	22.4%	23.0%	14.9%	13.5%
職場の部下との人間関係	2.7%	3.6%	7.9%	9.8%	5.3%	4.2%
職場外の人との人間関係	2.3%	2.8%	3.9%	6.6%	3.2%	3.0%
人間関係以外の仕事上のトラブル	2.2%	1.6%	3.3%	8.2%	3.2%	2.6%
その他(人間関係のトラブル)	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%
精神面の病気・不調	7.9%	7.9%	19.7%	19.7%	13.8%	10.7%
その他の病気・入院	2.2%	2.8%	7.2%	8.2%	3.2%	3.4%
家族の介護	1.6%	2.4%	5.3%	4.9%	2.1%	2.5%
結婚・出産・育児	2.5%	6.3%	5.3%	9.8%	0.0%	3.9%
その他の個人的な深刻な悩み	2.2%	4.0%	4.6%	6.6%	4.3%	3.3%
その他(個人的なこと)	0.4%	0.4%	0.7%	0.0%	0.0%	0.4%

※1%水準で統計的に有意に値が大きい箇所を網かけを、値が小さい箇所に下線を付した。

また、図表4-21には、相談後の経過年数を示した。調査では「今から何年前のことですか」と年数でたずねた。図では適当な年数に最コード化して示した。最も多いのは相談後「3年以内」17.8%で、以下、「1年以内」16.4%、「5年以内」14.6%と続いていた。おおむね5年以内で約半数、10年以内で7割を占めた。

図表4-21 相談後の経過年数



図表4-22には、相談時からの経過年数別のキャリアコンサルティングの相談内容を示した。ただし、1%水準で統計的に有意な結果はみられなかった。この表では、例えば、回答者が何歳であっても10年前に何らかの相談をすれば、相談時からの経過年数は「10年以内」と括られることとなる。したがって、仮に統計的に有意な結果が出ていれば、それは相談内容の時代変化として解釈する余地があった。この表では統計的に有意な結果がみられなかったため積極的な解釈は慎重であるべきだが、相談時の経過年数と相談内容には明確な関連性がない可能性が高く、したがって時代による相談内容の変化もない可能性が高い。

図表4-22 相談時からの経過年数別のキャリアコンサルティングの相談内容(複数回答)

	1年 以内 N=160	3年 以内 N=174	5年 以内 N=143	7年 以内 N=101	10年 以内 N=133	15年 以内 N=124	20年 以内 N=61	20年超 N=82
学生時代の就職活動	12.5%	18.4%	19.6%	12.9%	9.0%	12.9%	3.3%	13.4%
(学生時代以外の)就職活動、求職活動	9.4%	12.1%	11.9%	12.9%	9.0%	6.5%	6.6%	1.2%
転職	53.1%	50.0%	52.4%	58.4%	62.4%	55.6%	55.7%	39.0%
会社の倒産・リストラ	3.8%	4.0%	3.5%	5.9%	3.0%	2.4%	3.3%	3.7%
定年後の就職、仕事	3.1%	1.7%	2.8%	0.0%	2.3%	2.4%	1.6%	4.9%
その他(職業選択)	1.3%	1.1%	2.1%	1.0%	1.5%	1.6%	1.6%	1.2%
自分の職業の向き不向き	23.1%	23.6%	24.5%	30.7%	24.1%	23.4%	16.4%	15.9%
モチベーション・アップ	20.0%	20.1%	21.7%	16.8%	14.3%	16.9%	13.1%	9.8%
職業能力の開発・能力アップ	15.6%	17.8%	19.6%	18.8%	14.3%	12.9%	19.7%	12.2%
資格取得	9.4%	13.2%	12.6%	11.9%	3.0%	9.7%	8.2%	12.2%
進学・留学など	0.6%	4.0%	2.8%	2.0%	2.3%	2.4%	0.0%	3.7%
将来のキャリア計画	20.0%	13.8%	11.2%	19.8%	12.8%	11.3%	14.8%	2.4%
その他(能力開発)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	1.6%	0.0%
仕事内容	35.6%	32.8%	37.1%	36.6%	29.3%	34.7%	37.7%	30.5%
賃金や処遇	23.1%	21.8%	21.0%	21.8%	21.1%	19.4%	26.2%	9.8%
残業や労働負荷	11.3%	10.3%	9.8%	9.9%	12.8%	12.1%	8.2%	7.3%
配置転換・出向・転籍	8.1%	6.9%	5.6%	5.9%	4.5%	3.2%	4.9%	6.1%
昇進・昇格	5.0%	4.0%	2.8%	3.0%	4.5%	4.8%	8.2%	7.3%
その他(労働条件)	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	1.6%	1.6%	1.2%
職場の同僚との人間関係	8.1%	6.3%	9.1%	11.9%	5.3%	11.3%	14.8%	3.7%
職場の上司との人間関係	15.0%	12.6%	13.3%	14.9%	7.5%	8.1%	14.8%	12.2%
職場の部下との人間関係	2.5%	4.6%	4.9%	4.0%	3.0%	5.6%	3.3%	4.9%
職場外の人との人間関係	1.9%	4.0%	2.8%	2.0%	3.8%	2.4%	1.6%	4.9%
人間関係以外の仕事上のトラブル	0.0%	3.4%	0.7%	1.0%	3.0%	2.4%	3.3%	4.9%
その他(人間関係のトラブル)	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%
精神面の病気・不調	13.8%	8.6%	10.5%	11.9%	8.3%	12.1%	8.2%	7.3%
その他の病気・入院	4.4%	2.3%	3.5%	2.0%	1.5%	4.0%	4.9%	6.1%
家族の介護	3.8%	1.7%	2.8%	2.0%	2.3%	0.8%	1.6%	3.7%
結婚・出産・育児	5.0%	3.4%	3.5%	2.0%	2.3%	3.2%	3.3%	3.7%
その他の個人的な深刻な悩み	3.1%	2.9%	3.5%	2.0%	3.0%	3.2%	1.6%	2.4%
その他(個人的なこと)	0.6%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%

※1%水準で統計的に有意な結果はみられなかった。

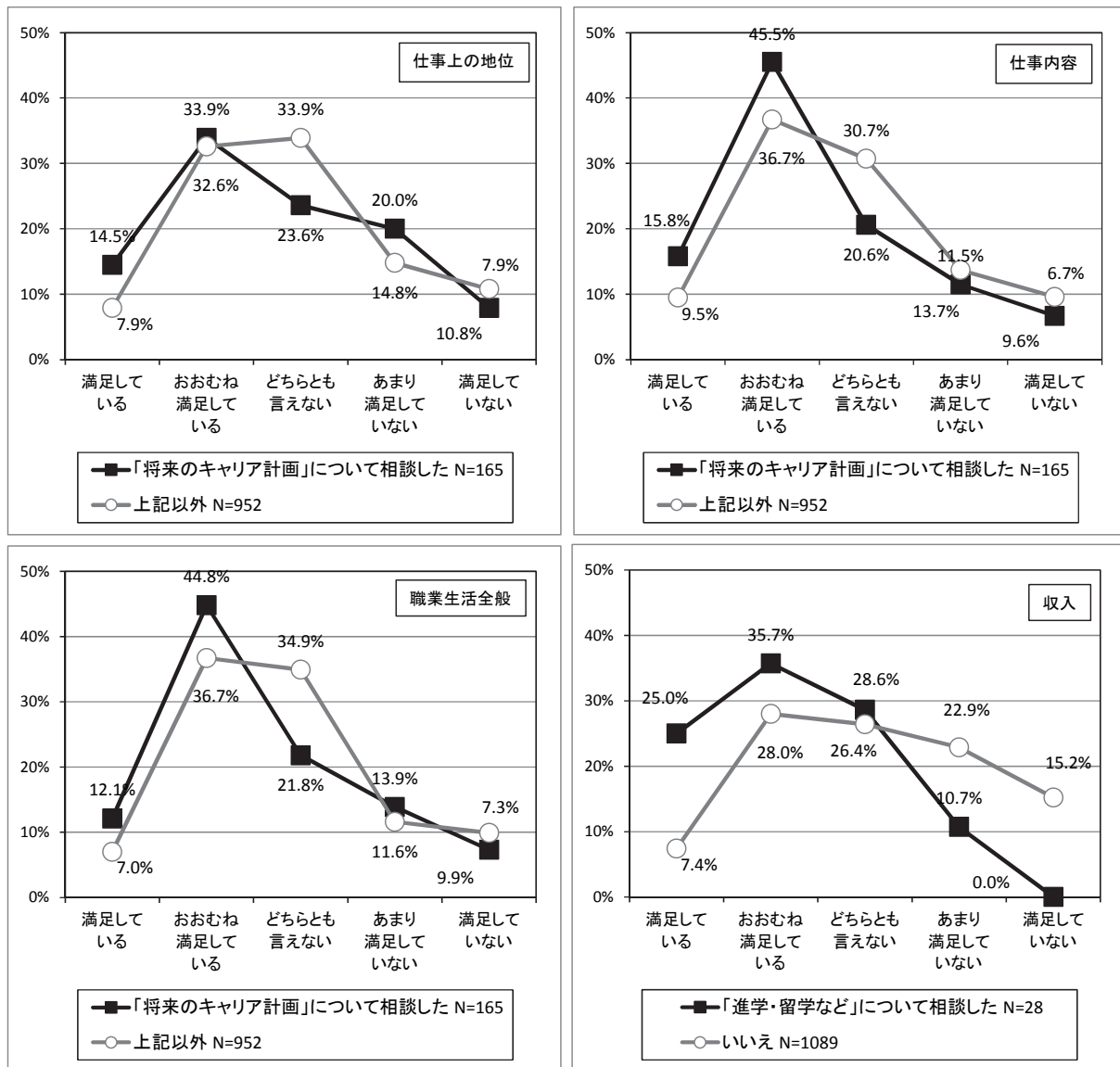
8. キャリア意識別の相談内容の特徴

キャリア意識と相談内容の関連を検討した結果、まず、現在の満足感と相談内容に関連がみられた。

図表4-23に示したとおり、特に明確な関連がみられたのは「将来のキャリア計画」の

相談内容であった。過去に「将来のキャリア計画について相談した」者は、現在の「仕事上の地位」「仕事内容」「職業生活全般」のいずれの満足感についても「満足している」あるいは「おおむね満足している」の回答が統計的に有意に多かった。類似の結果は、過去に「進学・留学など」について相談した者でも見られており、現在の「収入」に対する満足感が高かった。これらの結果から、将来のキャリア計画や進学・留学に関する相談内容は、概して現在の満足感の高さと対応していることが指摘できる。

図表4-23 現在の満足感とキャリアコンサルティングの相談内容①



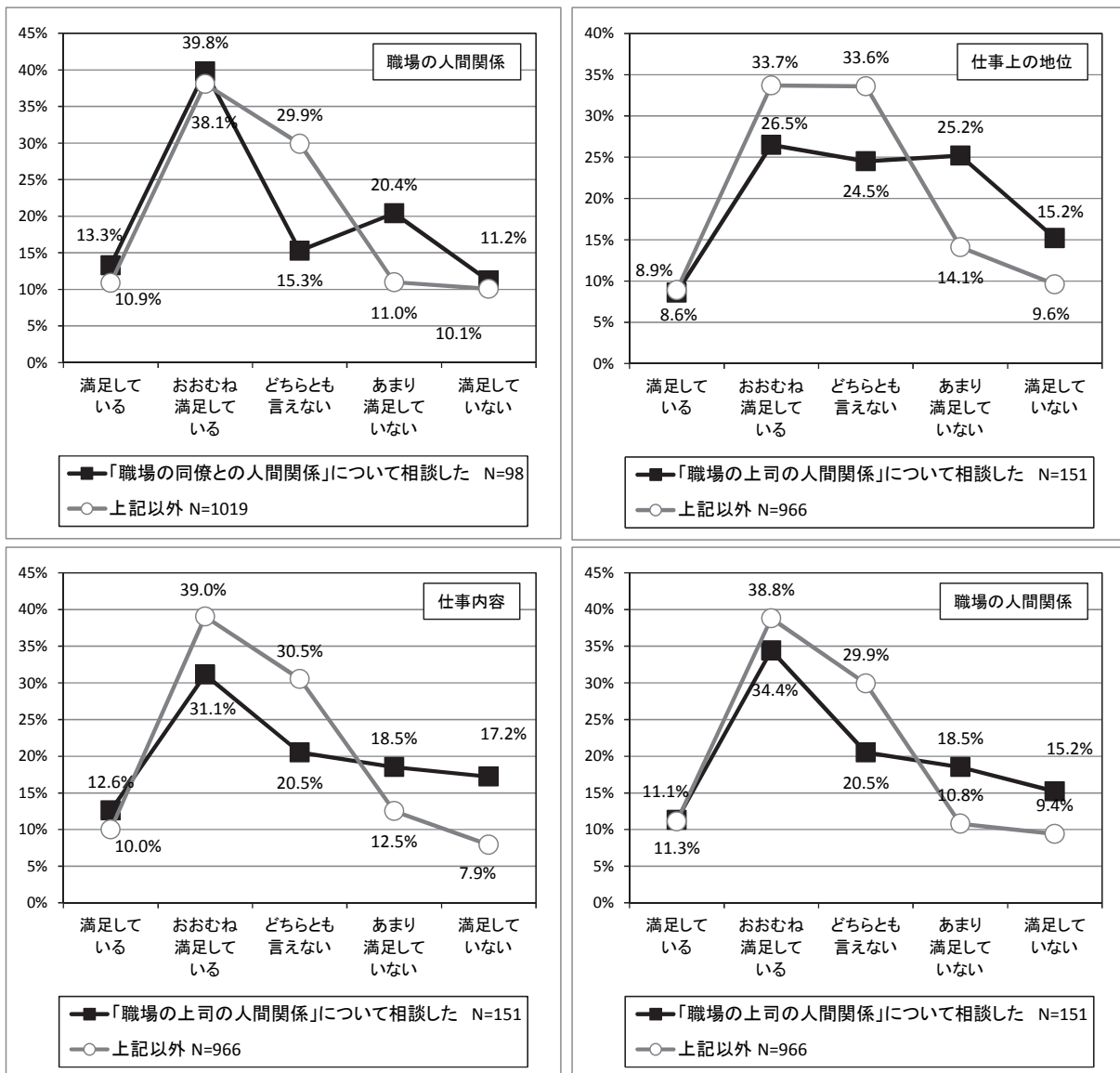
一方で、図表4-24に示したとおり、「職場の同僚との人間関係」について相談した者では、現在の「職場の人間関係」に対して「あまり満足していない」と回答した者が統計的に有意に多かった。「職場の上司の人間関係」については、「仕事上の地位」「仕事内容」「職場の人間関係」に対して「あまり満足していない」「満足していない」と回答した者が多かった。

また、図表4-25に示したとおり、「精神面の病気・不調」について相談した者では、「仕事内容」「現在の職業生活全般」に対して「満足していない」あるいは「あまり満足していない」と回答した者が統計的に有意に多かった。

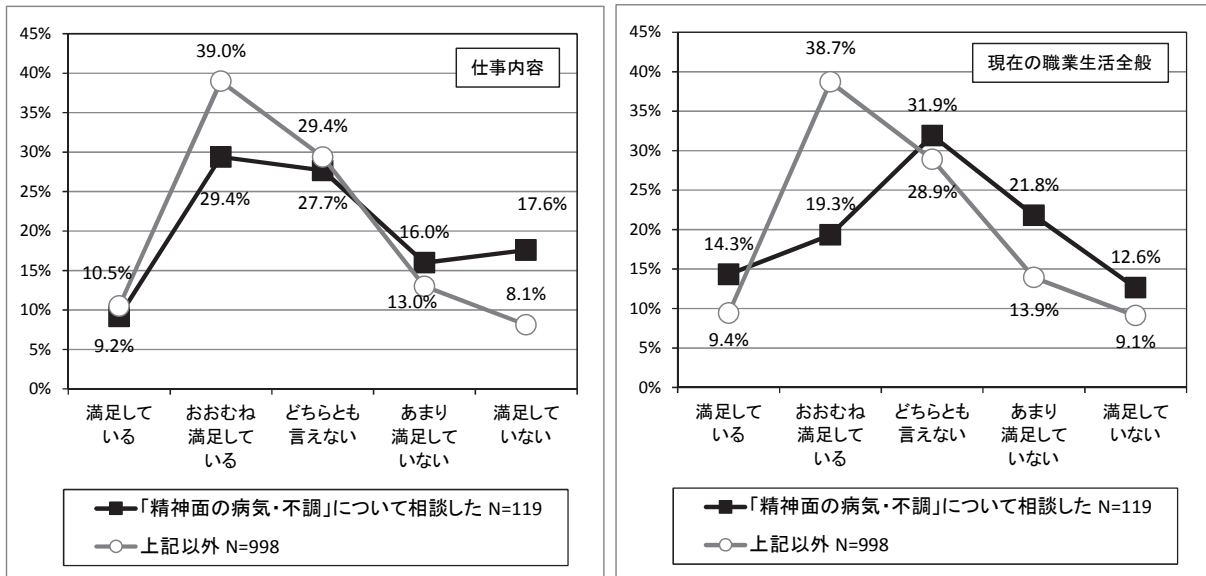
以上の結果から、相談内容と現在の満足感に関する特徴的な結果として、①将来のキャリア計画や進学・留学について相談した者は概して現在の満足感が高いが、②職場の同僚や上司との人間関係について相談した者、精神面の病気・不調について相談した者は概して現在満足感が低いことが示される。

キャリアコンサルティングで、まさにキャリアに関する相談をすることは、後の満足感を高めるが、キャリア以外に関する相談は、①解決しにくい、②後を引きやすい、③個人特性によりやすい等の理由から、現在の満足感に結びつかないことが考えられる。

図表4-24 現在の満足感とキャリアコンサルティングの相談内容②



図表4-25 現在の満足感とキャリアコンサルティングの相談内容③



その他、キャリアコンサルティングの相談内容と明確な関連がみられたのは、職業能力習得のために必要なことに対する回答であった。図表4-26に示したとおり、①過去に「転職」あるいは「将来のキャリア計画」について相談した経験がある者では、現在、「自発的な能力向上のための取り組みを行うことが必要」と考えている者が多かった。一方、②過去に「残業や労働負荷」「職場外の人との人間関係」について相談した経験がある者では、現在、「会社が提供する教育訓練プログラムに沿って能力向上を図ることが必要」と考えている者が他と比べて相対的に多かった。③過去に「自分の職業の向き不向き」について相談した経験がある者では、現在、「今の仕事のままでよいと考えているので、さらに職業能力を身につける必要はない」と考えている者が他と比べて多かった。

概して、相談内容と職場の職業能力習得のあり方には独特の対応関係があり、職業能力開発、スキル形成のあり方と相談内容に緩やかな関連がみられる点が特徴的であった。

図表4-26 職業能力習得のために必要なこと別のキャリアコンサルティングの相談内容

	今の仕事の内容のままでよいと考えているので、さらに職業能力を身につける必要はない	通常の業務をこなしていくことで必要な能力が身につく	会社が提供する教育訓練プログラムに沿って能力向上を図ることが必要	自発的な能力向上のための取り組みを行うことが必要	今後、どのような職業人生にするか決めかねている	わからない	合計
転職	5.3%	23.3%	8.2%	41.8%	13.1%	8.3%	100.0%
自分の職業の向き不向き	9.0%	19.1%	9.7%	40.4%	14.4%	7.2%	100.0%
将来のキャリア計画	6.1%	19.4%	10.9%	49.7%	10.9%	3.0%	100.0%
残業や労働負荷	4.8%	22.4%	18.4%	41.6%	10.4%	2.4%	100.0%
職場外の人との人間関係	3.0%	33.3%	30.3%	15.2%	12.1%	6.1%	100.0%
全体	5.7%	26.5%	9.5%	37.6%	12.1%	8.6%	100.0%

※1%水準で統計的に有意に値が大きい箇所を網かけを、小さい箇所を下線を付した。

その他、キャリア意識と相談内容については、以下の関連がみられた。

- ・過去に「転職」を相談した人には、現在、「いろいろな分野・業種・業界でいろいろな仕事をたくさん経験してきた」と回答した者が統計的に有意に多い。
- ・過去に「将来のキャリア計画」について相談した人は、現在、「自分でキャリア計画を考えていきたい」と回答した者が統計的に有意に多く、自分のキャリア計画について「わからない」と回答した者は統計的に有意に少ない。
- ・過去に「将来のキャリア計画」について相談した人は、現在、自分の職業能力は他社でも「通用すると思う」と回答した者が統計的に有意に多い。

概して、「将来のキャリア計画」について相談した経験のある者は、現在の満足感が高く、自分でキャリア計画を立てたいと考えており、自分の職業能力にも自信を持つ者が多かったと言える。

9. 本章の結果のまとめ

本章の主だった結果を以下に示す。

第一に、キャリアコンサルティングの相談内容のうち、上位3位までを占めたのは「転職」「仕事内容」「自分の職業の向き不向き」であった。

第二に、個人属性との関連では、年齢ごとに特徴的な相談内容があることが最も大きな知見であった。基本的に相談内容は30代を中心に「転職」が多いが、20代前半は「学校時代の就職活動」を挙げた回答者が多い。また、「精神面の病気・不調」「職場の上司との人間関係」も多い。20代後半には「結婚・出産・育児」の結果も示される。これらは年代が高くなるにつれて、漸減する傾向があるところに共通点がみられた。20代は就職や職場への適応、私生活面での大きな変化が重なるために、相対的に相談ニーズが多岐にわたり、それ故、量的にも多くなることがうかがえる。年代が高くなるにつれて増える相談内容もあり、例えば「定年後の就職、仕事」はその典型的なものであった。その他の個人属性については、年齢と関連が深いと考えられる要因（役職や年収など）以外に、勤務先の属性などではあまり関連がみられなかった。相談内容は、勤務先の特徴より、むしろ個人の年齢によって規定されると言えそうであった。

第三に、キャリアコンサルティングの相談内容は、相談場所・機関と密接に関連していた。概して、企業の中では「モチベーション・アップ」や「配置転換・出向・転籍」「職場内外の人間関係」に関する相談内容が多く、企業の外では「転職」の相談が多かった。学校では、「就職活動」や「進学・留学」の相談、公的機関では「学校卒業後の就職活動の相談」が多かった。なお、その他の相談機関では、まさに「その他の様々な相談内容」が多かった。

第四に、相談内容は、相談機関・場所と対応する形で誰が相談を担当したかとも関連がみられた。概して、キャリア相談の専門家は「転職」の相談、それ以外の相談の専門家は「人

間関係」と「精神面の不調」、その他の関連する担当者は「学生時代の就職活動」の相談内容が多かった。

第五に、キャリアコンサルティングの経験回数も相談内容と関連が深く、「転職」「モチベーション・アップ」「資格取得」「進学・留学」「将来のキャリア計画」「残業や労働負荷」「職場の上司との人間関係」「精神面の病気・不調」「その他の病気・入院」は、概して相談の経験回数が多かった。これらの相談内容では複数回にわたる相談が本人にとって有益であった、または必要であったと感じられていた相談内容であったと言える。

第六に、ただし、「将来のキャリア計画」と「職場の上司との人間関係」「精神面での病気・不調」ではその後の職業生活の満足感との関連性が異なっており、概して、将来のキャリア計画等について相談した者は現在の満足感が高いが、人間関係や精神面での不調について相談した者は現在の満足感が低かった。

以上、キャリアコンサルティングに関する相談内容を検討した結果、「転職」の存在感の大きさが改めて示されたと言える。人がキャリアや職業について相談する時とは、多くの場合、「転職」を考える時であり、この点を軽視することは適切ではないことが示唆される。翻って、産業競争力会議、日本再興戦略等でキャリアコンサルティングについて言及された際も、「キャリアチェンジを考える機会」と関連づけられており、この点については引き続き重視する必要がある。

なお、新たに働く環境を求めるという意味で類似した面があるのは、学校時代の就職活動におけるキャリアコンサルティングである。これは20代前半のキャリアコンサルティング経験者の半数が就職活動に関する相談内容であった。従来から重視されてきた相談内容であるが、今後も継続的な検討を要する。

一方で、キャリアコンサルティングに持ち込まれる相談は、必ずしも転職をはじめとする職業やキャリアの内容だけではなく、人間関係や精神面の不調（≒残業や労働負荷）なども含まれる。この点についての十分な検討の必要性が示される。

10. 補節 キャリアコンサルティングの相談内容の相互の関連

本章で分析を行ったキャリアコンサルティングの相談内容は複数回答であったため、1人の回答者がどのような相談内容を同時に経験したのかを検討できる。すなわち、相談内容間の関連を検討することができる。

各相談内容間の関連をスピアマンの順位相関係数を求めて検討した結果、統計的に有意な相関係数が多くみられたが、なかでも特に値が大きかった上位5つは以下のとおりである。

- ・「仕事内容」と「賃金や処遇」 $\rho = 0.426$
- ・「仕事内容」と「自分の職業の向き不向き」 $\rho = 0.335$

- ・「賃金や処遇」と「残業や労働負荷」 $\rho = 0.325$
- ・「職場の同僚との人間関係」と「精神面の病気・不調」 $\rho = 0.303$
- ・「職場の上司との人間関係」と「精神面の病気・不調」 $\rho = 0.339$

仕事内容に関する相談と賃金や処遇に関する相談が結びついており、さらに仕事内容は自分の向き不向きの相談、賃金や処遇は残業や労働負荷の相談と結びついていることが分かる。仕事内容が自分にあるか否かの相談、賃金や処遇が残業・労働負荷と釣り合っているのかの相談が相互に関連しあっていることがうかがえる。

また、職場の同僚および上司のとの人間関係と精神面の病気・不満の相関も高く、職場のメンタルヘルスがおおむね職場の人間関係と関連しあっていることが分かる。

こうした相談内容間の関連をさらに全項目に広げて、相互の関連をみることを目的として主成分分析を行い、第1主成分と第2主成分の負荷量をプロットした(図表4-27)。図からは大きく4つのまとまりを観察することができる。1つめは左下の「転職」であり、この相談内容が他の相談内容とは独立した1つの大きなまとまりを形作っていることを見取することができる。2つめは右下の「賃金や処遇」「仕事内容」「昇進・昇格」「残業や労働負荷」などを中心としたまとまりであり、上述した相関関係を基盤とした職場内の仕事や処遇、キャリアや能力開発などに関する相談が中心となっている。3つめは右上にあって、「職場内外の人間関係」と「精神面の不調」「その他の病気」「介護」「結婚・出産」などで1つのまとまりを形作っている。人間関係とメンタルヘルスを基盤とした病気その他の個人的な事情に関する相談が中心となっている。4つめが左上であるが、就職活動と会社の倒産・リストラ、定年後の就職などが1つのまとまりを形成している。若干、解釈が難しいまとまりであるが、おもに「就職」に関する相談であると考えることができる。

以上、本研究の結果から、キャリアコンサルティングで相談される内容は、(1)転職、(2)仕事内容(賃金・処遇、キャリア計画・能力開発等を含む)、(3)人間関係とメンタルヘルス(その他の病気、介護、結婚・出産等を含む)、(4)就職(学生時代、リストラ、定年後の就職を含む)と整理することができる。

図表4-27 相談内容の関連(主成分分析)

